



イベント中止の危機をインターネット販売で組合員救済

笠間焼協同組合

住 所	〒309-1611 茨城県笠間市笠間2481-5		
U R L	http://www.kasamayaki.or.jp		
設 立	平成3年7月	主 な 業 種	陶磁器製品製造及び販売
組 合 員 数	157人	出 資 金	33,400千円

■背景・目的

笠間の陶炎祭(ひまつり。以下「陶炎祭」という)は、当組合主催で毎年ゴールデンウィーク期間中に開催し、県内外から50万人以上が訪れる茨城県を代表するイベントである。200人以上の組合員らが作品の販売を行い、出店者にとっては大きな収入源となっている。しかし、令和2年は新型コロナウイルスの感染拡大により開催が延期(後に中止)となったため、出店予定であった組合員らの収入の確保を図るためにも、インターネット版陶炎祭としてインターネット販売を行うことで組合員を救済するとともに、笠間焼の魅力を全国に発信することとした。

■取組みの手法と内容

陶炎祭の開催延期に伴い、出店予定者とその他の組合員全員に新型コロナウイルスと陶炎祭延期に伴う影響についてアンケートを実施したところ、組合に販売機会の確保等の救済を求める声が多く寄せられた。そこで、インターネット版陶炎祭として「笠間うつわ商店」と名付けたインターネット販売を行うことを理事会の決議を経て、実施を決定した。

理事長が責任者となり、青年部を中心にインターネット販売サイトの構築から運営、商品発送まで一貫して担当。インターネット販売には、123名の組合員らが出店し、5,800点(1,400種類)を取り扱ったほか、笠間焼並びに作家の魅力発信のため出店者の略歴等の紹介ページも作成した。

また、運営資金の確保が大きな課題であったが、長年の信頼・協力関係により笠間市から補助金を受けることができた。プレスリリースを駆使して多くの取材を受け周知されたこともあり、県内外に笠間焼の現状を発信し同取組みをPRし続けた。

売上高は目標金額を上回り、購入者分析では茨城県内が3割で県外が7割に上るなど、笠間焼が県外にも広く浸透されたことが確認できた。新型コロナウイルスの収束の見通しが立たないなかでインターネット販売の随時開設を検討しており、今後も笠間焼の魅力発信と組合員らの販売機会の確保に取り組んでいく。

■成果とその要因

青年部と理事のスピード感ある対応が大きな成功要因となった。また、笠間焼の魅力を全国に発信するために、単に商品を陳列するサイトではなく、芸術の観点からインターネット販売サイトのビジュアルにこだわった。プロの写真家に陶器を撮影してもらい、サイト画像はもちろん、オリジナルリーフレットを作成して購入者に同封するなどして笠間焼の魅力発信に努めた。



笠間うつわ商店 イメージ



笠間焼



Point

これまでの陶炎祭を通じての顧客構築、市との良好な関係に加え、組合の使命感とスピード感ある対応が、インターネット販売の成功につながったと言える。